

9月

保健だより

令和4年度
9月号

八代小学校

保健室

今年の夏も、本当に暑かったですね。少し涼しくなる秋への変わり目の9月10日ごろを「草露白(くさのつゆしろし)」と言うそうです。昼と夜の気温差が大きいと、草の上におりた露が白く見えることが由来です。そして、「朝露がおりと晴れる」という天気のことわざもあるそうです。

晴れの日、まだまだ危険な暑さになります。残暑に負けないように、生活リズムを整えて元気に過ごしましょう。



正しい手洗いで感染症を予防しよう

食パン実験の結果 ~実験から50日目の様子~

①汚れたまま



②水洗いのみ



③アルコール消毒のみ



④石鹸でザッと



⑤石鹸→服+髪



⑥石鹸→パ-パ-タオル

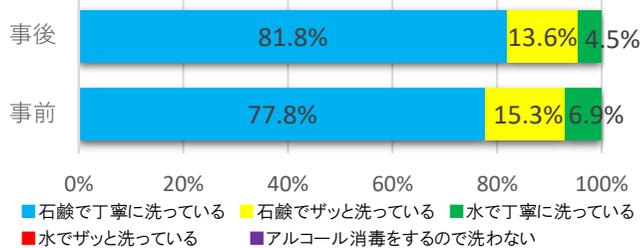


「手洗いに関するアンケート」の結果

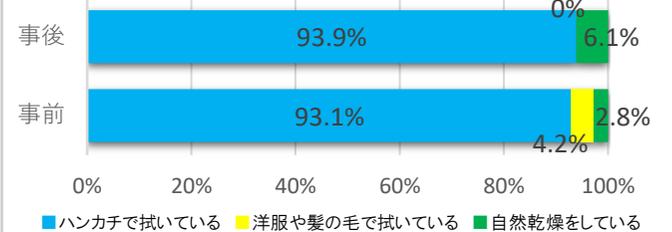
6月の児童委員会での発表前(5月)後(7月)で実施したアンケート結果の比較です。

コロナ禍になってから、みんなとてもよく手を洗うようになりましたが、2年以上も続き、慣れが出てしまっているようです。今回の実験で手の汚れを可視化して、みんなのような心の変化があったのか確認してみました。アンケート結果は下のグラフで表しています。もともと手洗いに関して意識は高くありましたが、事後の調査ではわずかですが数値が上がっていることがわかります。手洗いをした後に洋服や髪の毛で拭いていた児童は、事後では0%になりました。パンの実験結果がとても衝撃的であったのだと思います。まだまだ、コロナ禍は続きそうですが、一人一人の感染対策で、乗り越えていきましょう。

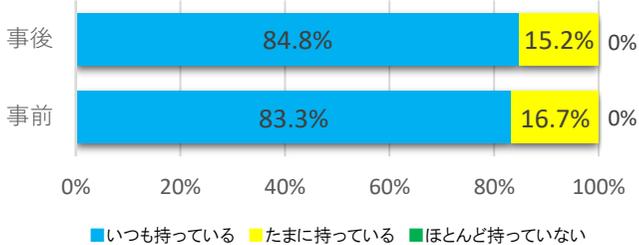
手の洗い方について



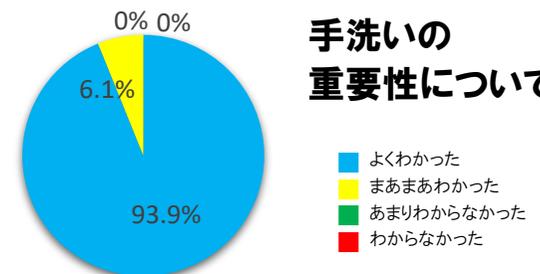
手洗い後の様子



ハンカチを持っているか



手洗いの重要性について



保健給食委員会で、手の洗い方によって、手に残る汚れやばい菌がどの程度変わるのかの実験を行いました。実験結果から、ザッと洗っただけだったり、石鹸で丁寧に洗っても洋服や髪の毛で拭いたりすると手にはかなりの汚れやばい菌が残っていることがわかりました。また、実験のために丁寧に洗ったつもりでしたが、汚れは残っていたようなので、普段の手洗いを見直して、アルコール消毒も併用しながら、感染対策をしていこうと思います。(委員会児童の感想より)